

第2回企業意見交換会アジェンダ (お伺い事項)

1. 中長期的な企業価値向上に向けた環境課題認識

- 環境課題を、大きく、①気候変動、②水資源、③生物多様性・生態系サービス、④資源効率・資源循環、⑤汚染予防、の5つに分類した場合、特にどのカテゴリーにおいて、どのようなリスクまたは機会を認識し、重視されているか、それはなぜか（当該認識に至ったきっかけや経緯を含む）。
 - オペレーション、ビジネス市場、サプライチェーンの各視点から、事業展開地域別に環境リスク認識等で目立った違い（今後の予測を含む）がおありでしたら、併せてご教示願います。また、投資家に加え、取引先（BtoB）や消費者（BtoC）等から、環境配慮的な施策に取り組む（取り組まざるを得ない）プレッシャーのようなものを感じられることはあるでしょうか（例えば PRI、CDP、SBT、RE100、WMB (We Mean Business)、Climate Action 100+のような海外発の取組のインパクト、等）。
- 上記認識について、大雑把にどの程度の時間軸（例えば1年、3年、5年、10年以上）のもとで、企業価値への影響性（例えば財務面の毀損やブランディング面の向上、等）を考慮されているか。
- そのもとで、どのような施策に取り組まれているか、あるいは、今後どのような計画や戦略を講じる必要があると考えられるか。
 - 当該施策の足元までの効果や当面の見通しにかかる背景認識、計画策定の必要性の理由、等についてもご教示願います。

2. マネジメントにおける課題認識

- 中長期的な企業価値向上の観点から、経営として環境課題に取り組む上で、特に組織体制・管理面でどのような工夫・改善を講じられているか（望ましいと考えられる取組イメージを含む）。また、環境課題に取り組む上での障壁（ボトルネック）や悩みはないか。
 - 例えば経営陣—社内関連部署間の情報連携体制、取引先や外部専門機関等との連携・協働面などについて、見直したり工夫した事例などがございましたらご教示願います。
- パリ協定やSDGsを背景とするグローバルな潮流等、マクロ的な環境変化を自社の経営ビジョンや施策等に織り込む場合、（その目的や性格にもよるが）具体的にどの程度の時間軸のもとで、どのようなインセンティブや狙いをイメージすればよいか。

3. 投資家への効果的情報開示と対話ツールとしての環境情報についてのご意見

- 自社の持続可能性に向けた施策等を投資家に適正に評価してもらうために、例えば情報開示面の充実等どのような取組に実効性を見出しているか、それはなぜか。
- 中長期的な企業価値向上に向けた（投資家による）評価の適正化に向けて、投資家との対話経験等から、正直、不十分／弱いと思われる視点や求めたい視点、あるいは逆に、企業として理解を深めたい投資家側の問題意識や視点、等はないか。

以 上